

平成30年 第5回（12月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

12月12日（水）			
質問者			
通告第1号	7番	岩田	京子
通告第2号	14番	五十嵐	恵千子
通告第3号	15番	互	金次郎
通告第4号	17番	稲垣	茂行
通告第5号	6番	濱田	美弥
通告第6号	13番	小野	潔
通告第7号	3番	稲葉	剛治

12月13日（木）			
質問者			
通告第8号	2番	雪田	きよみ
通告第9号	19番	松崎	誠
通告第10号	18番	齋藤	詔治
通告第11号	12番	小林	昭子
通告第12号	11番	佐藤	清治
通告第13号	10番	加藤	克明
通告第14号	9番	吉川	敏幸

12月14日（金）			
質問者			
通告第15号	1番	遠藤	義法
通告第16号	5番	林	美希
通告第17号	16番	伊藤	正勝
通告第18号	8番	降旗	聡
通告第19号	4番	戸田	馨

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第1号 7番 岩田 京子</p>	<p>SDGs (Sustainable Development goals: 持続可能な開発目標) の取組について</p>	<p>SDGs は国連が掲げた 2030 年までの達成すべき世界共通の目標です。誰も取り残さないための、全人類が一丸となって取り組むべき目標です。特に自治体SDGs は実施において不可欠なパートナーであるという位置付けで、この目標に主体的に取り組むことが期待されています。</p> <p>①吉川市としての目標と今後の具体的取組みは。 ②各部における目標と課題、今後の具体的取組。また、その時に連携すべき団体などがあつたらお聞かせください。 ③現在、計画や指針などを策定されているところは、SDGs に関わる項目をどのような形で盛り込めたか。 ④庁舎内での啓発。(例えば階段の蹴り上げの面へSDGs の項目を掲示する等) SDGs 目標 14 海洋ごみ・マイクロプラスチックに対する取組みについて ⑤各担当で作った啓発用のクリアファイルの種類、部数、金額。(できたら3年分) ⑥吉川市で作ったペットボトル水道水の目的。作った数と金額。 ⑦公共施設にある自動販売機の数。その内防災用の掲示板があるものの数は。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>岩田 京子</p>	<p>森林環境譲与税について</p>	<p>平成 31 年から、各市町村自治体へ交付されることとなりますが ①森林環境税・森林環境譲与税の目的と仕組について。 国産材利用など、川下対策として 3 割分が人口割で森林のない自治体にも交付されることとなりました。 ②吉川市にはいくら交付される予定か。 ③担当課はどこになるのか。目的をより効率的に実現させる必要があるが、吉川市における目的と用途は。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
	<p>市民参画について (続)</p>	<p>私が考える市民参画 (情報に基づいた意見と、決定過程への参加) と、特におあしす改修に対する市の市民参画のあり方 (広く意見を聞き、決めるのは行政) に乖離があると感じています。前回途中になった部分を含めて再度質させていただきます。 ①9 月議会で検討を依頼しましたが、市民交流センターおあしすにおいてはどんな改修であろうと、市民参画条例第 7 条の市民参画手続きの対象であるとはっきり位置付ける必要があると思うが、その点はどのように検討されましたか。 ②市民参画条例の第 3 条第 2 項の 市民参画は、市民と市の市政に関する情報の共有により行われなければならないと書かれているが、どのような対策をとられているか。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 市民参画について (続)	<p>市長キャラバンが行われているが、市政に関するどのような情報を市民に伝えているのか。</p> <p>③市民参画条例第4条「市民の役割」で、市民は、自らの発言と行動に対して責任を持って市民参画を行うように努めることを規定し、市民全体の利益に資するといった観点に立って、意見を述べ、提案などを行い、市民参画に努めることを規定しています。市はそれを目指し市民を育てなくてはならないという使命もあると思うが、それはどのような事をする事で達成できると思うか。</p> <p>④アーンスタインのはしごを紹介させていただいているが、吉川市の目指す市民参画はアーンスタインのはしごでいうと、どこを目指しているのか。もしくは別の指標があるのか。</p>	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第1号 7番 岩田 京子	市民劇団について	<p>自主上演してきた演劇部出身者として質させていただきます。</p> <p>①11月24、25日に行われた公演の総評。 平成30年度当初予算の説明時には、前年度予算(約300万円)より1.5倍の予算(約450万円)が付くことに対して、前年度2回だった公演数を1.5倍の3公演行うとの説明があった。</p> <p>②公演回数が説明時と変更された理由。</p> <p>③公民館ホール(500人収容)で3回、1500人が観覧できる予測が、おあしす多目的ホール(300人収容)で2回、観客数のべ313人予測の5分の1になっていることについての考え方。</p> <p>④チケットの売り上げ金額。</p> <p>⑤演劇に関する事業が3年目を迎えたが、どのような総括をし、次年度の予算編成に向けて、どのような計画を立てているのか。</p> <p>⑥29年度の演劇公演について、約300万円の予算だったところ、人件費等含め900万円を超える決算が出たが、今年度の見込みはどのくらいになりそうか。</p> <p>⑦策定中の文化芸術方針には、演劇及び、劇団についてどのように盛り込まれているのか。</p>	市長 教育長 各担当部長
通告第2号 4番 五十嵐恵千子	安全・安心のまちづくり強化へ「自販機を活用した防犯カメラの設置」導入を	<p>当市は、現在「第3次吉川市防犯推進計画」に基づき、安全で安心できるまちづくりの実現に向け、市・市民・地域・事業所等が一体となって様々な防犯事業が推進されています。これまでの取り組みにより、刑法犯の認知件数は減少し、成果を上げていると認識していますが、特殊詐欺犯罪の巧妙化や子どもへの声掛け、不審者情報の増加など、社会的</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第2号 4番 五十嵐恵千子</p>	<p>(続) 安全・安心のまちづくり強化へ 「自販機を活用した防犯カメラの設置」導入を</p>	<p>弱者に対する軽犯罪は増加傾向にあり、それが重犯罪にも繋がりがねないという油断できない状況でもあり、市民からは「防犯カメラの設置」を望む声があります。先月、野田市は、安全で安心なまちづくり推進の一層の強化を図るため、某一般社団法人と協定を締結し「市内の公園3カ所に計6台の自販機を設置し、その売り上げの一部を防犯カメラの設置・管理費用に充て、子どもの安全・安心に配慮すべく、小学校周辺に4台の防犯カメラを無料で設置」という情報があり、視察をさせていただきました。</p> <p>①新潟市で本年5月に起きた小学校2年生の女兒殺害事件を受け、政府は再発防止策として「登下校防犯プラン」を決定し、全ての公立小学校等へ「通学路における緊急合同点検等実施要領」に沿って、通学路の安全点検及び安全対策を講じる依頼がされたとお聞きしていますが、当市の実施結果をお聞かせください。</p> <p>②「広報こしがや」11月号には、新越谷駅西口に防犯カメラを設置し駅周辺の街頭犯罪を抑止するとありました。当市におきましては、吉川駅自由通路等へ既に防犯カメラを設置とのことですが、その他、吉川駅周辺や不審者が身を潜め犯罪が起きやすいと思われる場所へ防犯カメラ設置の要望があります。どの様に検討がされ設置が決定されるのか、設置要件や課題、今後の計画についてお伺いします。</p> <p>③当市は、既に73台の防犯カメラが設置されているとのことですが、設置に関わる費用及び年間の管理費用額をお聞かせください。また、市内における安全で安心なまちづくり推進の更なる強化のためには、野田市のように財政負担無しの取り組みを導入すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>障がいのある子ども達の未来を育む支援事業を</p>	<p>①本年の6月議会一般質問では、公立保育園における障がい児の保育と療育の在り方についてと題し、新たなこども発達センター開設についても保護者の声から様々な質問・要望をさせていただき、現在、前向きなご答弁どおり事業が推進されていると認識しています。来春からの本格実施を前に、新たな放課後クラスのプレ実施が12月から行われていますが、そのプレ実施前の11月に一部の保護者の皆様から、利用予定者に対して、口頭説明のみで詳細な内容が分からないと数多くのお問い合わせやご要望をいただき担当課へお繋ぎしました。保護者から寄せられた声とその後の対応についてお伺いします。</p> <p>②9月議会一般質問では、医療的ケア児を含む障がいのある子ども達への教育支援についてと題し、保護者が希望すれば、障がい児も地域の学校で授業が受けられるようにと、市内特別支援学級の状況や課題をお聞きしながら、龍ヶ崎市の先進的な支援員派遣事業</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第2号 4番 五十嵐恵千子</p>	<p>(続) 障がいのある子ども達の未来を育む支援事業を</p>	<p>を紹介し、当市も支援員派遣事業をと提案・要望をさせていただきました。龍ヶ崎市では、発達障がいや自閉症などの児童・生徒が通常授業を受けられるように、NPO法人へ支援員派遣事業を委託し、児童・生徒一人に対して複数の支援員で始業から放課後までしっかりサポートし、子どもと保護者が安心できる教育環境づくりに取り組んでいます。当市も障がい児は増加傾向にありますが、希望すれば普通教室で通常授業が受けられる取り組みを目指すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p> <p>③障がい児をお育ての保護者から、働きたくても時間的な制約がありなかなか仕事に就けないのご相談もありますが、その経験を障がい児保育や教育支援に活かしていただく人材づくりの取り組みを推進する取り組みも重要と考えます。当市の現状とご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>飼い主のいない猫対策について</p>	<p>最近、飼い主のいない猫(野良猫)が「庭に入ってフンや尿をして困る」「空き家の中で子猫を産んだ」「子猫が捨てられていた」などのご相談や苦情が多く寄せられます。</p> <p>①近年、担当課へ寄せられる相談件数の推移とどのように対応されているのかお聞かせください。</p> <p>②平成29年9月議会一般質問にて、市内の野良猫を減らすために埼玉県で始めた「地域猫活動補助金事業」を紹介し、市内の動物愛護団体と連携し取り組みがスタートされたと認識していますが、地域猫活動の実績と現状、課題についてお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第3号 15番 互 金次郎</p>	<p>防災・減災対策の更なる推進を (主に減災プロジェクト in 三輪野江小学校区から)</p>	<p>11月4日、減災プロジェクトが三輪野江小学校で「連携の強化」と「市民にとってより現実的な災害対策訓練」をテーマとして実施されました。</p> <p>多くの関係団体や三輪野江小学校区の23自治会、さらに東中学校の生徒も参加されました。特に今回は、福祉避難所開設訓練施設として「平成園」、臨時避難場所開設訓練会場として「上中会館」「中島集会所」「関新田集会所」を使用して訓練が行われました。</p> <p>このたびの「減災プロジェクト in 三輪野江小学校区」の特徴と、評価、今後の課題についてご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第3号 15番 互 金次郎</p>	<p>自殺対策の更なる充実について</p>	<p>2017年の日本の年間自殺者数は、2万1321人です。また、全国の15歳から39歳までの死因第1位は自殺です。2016年4月には、改正自殺対策基本法が施行され、自殺対策の計画策定が、自治体にも義務付けられました。さらに、昨年7月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」には、「子ども・若者の自殺対策を更に推進する」ことが明記されました。具体的な施策として「SOSの出し方に関する教育の推進」「ICTを活用した自殺対策の強化」などが盛り込まれたところです。</p> <p>1. 当市の自殺者の過去5年間の実態と、自殺対策の現状と課題は。 2. 学校教育現場での自殺対策への取り組みは。 3. 当市では、今年度末の計画策定を目途に、自殺対策計画策定委員会が開催されています。厚生労働省の地域自殺対策計画策定ガイドラインには、計画策定にあたり「地域で推進すべき自殺対策」として</p> <p>①国民一人ひとりの身近な行政主体としての責務 ②行政トップが責任者となり全庁的な取組として推進 ③コーディネートを担う専門部署の設置や専門職員の配置 ④市町村と都道府県による連携の必要性</p> <p>と記載しています。この4点につき当市の基本的なご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第4号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>これまでを振り返り、次年度への思いは</p>	<p>先の9月議会で中原市長は、任期満了に伴う次期市長選挙に再選を目指し、『引き続きまちづくりに取り組みたい』と、立候補することを表明しました。そこで改めて中原市長の「まちづくり」に対する思い、手法等について質問いたします。</p> <p>市政運営の舵取りを行う「市長」が「まちづくり」について、どのように考え進めて行くのかは、そこに暮らす市民の幸せ感に極めて関わりのある重要なことだと考えます。</p> <p>基礎自治体の行政サービスは、私たちの暮らしに深く関わっています。朝目覚めて顔を洗います。市が水道を供給しています。トイレを使えば、下水道は市が管理運営しています。ゴミの分別収集も市の仕事です。家を出ればほとんどの道路が市道で、公園、図書館、公民館等も市のものです。「揺りかごから墓場まで」という言葉があります。「私たちは、母親のお腹の中から灰になるまで、行政のお世話になります。生まれる前は母子手帳、生まれると保健センターで健康診断を受けます。そして保育園、小学校、中学校等公立の</p>	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続)</p> <p>通告第4号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>(続)</p> <p>これまでを振り返り、次年度への思いは</p>	<p>施設のお世話になります。高齢者の多くは、病気になると国民健康保険を利用します。介護保険の介護サービスを受けることもあります。最後は火葬場です。これらの行政サービスのほとんどは、国ではなく基礎自治体である市が提供しています。</p> <p>市民にとって、質の高いサービスの提供が受けられ、地域が自分の役割と居場所があるところであれば、暮らしやすい、住んで良かった、これからも住み続けたい「まち」という事になります。</p> <p>前回の選挙で市長に就任し、間もなくその任期が終わろうとしています。これまでを振り返るとともに、次年度への思いを伺います。</p> <p>1 これまで何が出来て、何が出来なかったのか (成果と課題、反省点は)</p> <p>2 次年度への思いは</p> <p>3 目指す「まちづくり」の方向性、取組みと進め方</p> <p>4 市民参画と協働（共働）、そして市長としての「リーダーシップ」についての考え方</p>	<p>市長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第4号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>「おあしす改修」について (新庁舎との関連)</p>	<p>1 改修計画について、今後の進め方と方向性、スケジュール</p> <p>①新庁舎との一体整備は、「ゼロベース」「白紙に戻す」としているが、「改修内容」はどのようなものになるのか</p> <p>②改修についての意見集約と合意形成はどのように図るのか</p> <p>③具体的な改修計画はいつ決定し、工事完了はいつになるのか</p> <p>④「検討委員会」をなぜ設置しないのか</p> <p>⑤これからも市長キャラバン等を継続するのか</p> <p>2 コミュニティスペース再構築事業 「喫茶・レストラン」の市場調査結果を受けての考え方</p> <p>3 「はーとふる・ぽっと」跡地の活用方法と時期</p> <p>4 新庁舎3階「休憩室」での弁当販売及び庁舎・おあしすでのコーヒーワゴン販売について。</p> <p>①これまでの売上実績及び「はーとふる・ぽっと」との比較（前年）</p> <p>②弁当・ワゴン販売準備の進捗状況と実施（時期・売上）見通し (営業許可取得、弁当製造等)</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第4号 17番 稲垣 茂行	(続) 「おあしす改修」について (新庁舎との関連)	③執務室(自席)での食事はいつまで続けるのか。抜本的改善を図ることが必要と考えるが ④「休憩室」充実整備と市民への開放 休憩室の環境改善を図る必要があると考えるが。市民への開放はいつからどのような形で実施するのか	市長 教育長 担当部長
通告第5号 6番 濱田 美弥	「防災」について	①今回の三輪野江小での減災プロジェクトについて市の総括は。 今年の3月に、地域の特性や抱えている問題点などについて自治会等と話し合い、地域の求める訓練をと、お願いしましたが今回どの程度、地元の課題に沿った訓練になったか等をお聞かせください。 ②これから学校施設にもエアコンが付く予定です。一時避難所としても特に夏冬は助かると思われま。ところで、前回の質問で市内には民間のホテルや民宿のような施設は無いことが分かりました。しかしながら高齢者や障害をお持ちの方、病気の方など、また、1週間を超えての体育館での集団避難は疲労が蓄積していきます。市内の「エアコンなどがある宿泊可能な施設」の数を公共施設や集会所なども含めて市内に何家族(何名)が泊まれるか具体的にお示しください。併せて、市民まつり時に室根からいらした方々は市内のどこに何人くらい宿泊されたかも教えてください。 ③夜間に発災した場合、また天候が悪い場合は特にすぐに室内に避難したく体育館などに集まるかと考えられます。地域の方々が速やかに学校内、または体育館に避難することは可能でしょうか。可能な学校・出来ない学校をお示し下さい。 ④市役所の職員が駆けつけられない夜間や祝日の災害の場合には、避難者が速やかに室内に入れるよう、鍵を自治会長に預けるなど、非常時のための手立てが必要と考えますがいかがでしょうか。	市長 教育長 担当部長
	防災・水について	①水上交通は物資の輸送など非常時に有効と考えます。中川の堤防のどこか1か所に川に降りる場所と道を作ってはいかがでしょうか。船着き場・消防の水利・東京への交通手段などにもなります。 ②消防の取水用に、二郷半用水路や大場川などに水を流せば、流水で水質改善にもなるのでいかがでしょうかと市民からの要望がありました。市内の用水路や河川の「水」の扱いについて現状をお聞かせください。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	防災・旧庁舎跡地について	①旧庁舎跡地について、今後の活用予定をお示し下さい。ある程度の広さの広場は災害時にも必要。跡地は「防災広場」としても良いのではないのでしょうか。一角に第5分団の消防小屋などを置いてはいかがでしょうか。現在、会議室も狭く、機材置場も欲しい、との声も出ています。	市長 教育長 担当部長
	登下校見守りボランティアなどについて	①通学路の見守りをしてくださっている自主的なボランティア等の把握は出来ていますか。学校や市で地域の助け手の把握をすべきでは。 ②腕章やバッジなどで保険適用をしては。樹木選定のボランティア、落ち葉集めのボランティアなどにも。自主的な地域活動をされているボランティアさんをしっかりと把握し、せめて活動中の事故については保険適用を出来ますでしょうか。	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第5号 6番 濱田 美弥	コミュニティバスの復活で 公共交通の充実を	①車を持たない方々から以前あった吉川のさわやか市民バス・草加のポリポリくんバス・野田のまめバス等のようなコミュニティバスを望む声が多く聞かれます。 [例えば循環バスを1周1時間程度・100円で] ●多少時間がずれても楽しく待てるような屋根付きのバス待合所のような場の提供を ●ルートの中は市役所で、待っている方は庁舎内でくつろいでいただいたり、バス停は庁舎の玄関前に移動しては。南ルート・北ルートを時計回り・反時計回り、1時間で1周するようなコースで。 ●行き先には・銭湯(割引券の配布)・総合体育館・病院・ショッピング・プラネタリウム付の児童館、ワンダーランドに行けるコース、グランドや市民プールなどへも。 ●なまりんバスはすでにあるので、さくら・さつき・しょうぶバスなど花の名前でも。案を出してみましたがコミュニティバスを望む方たちと様々な案を出し合ったらわくわくするような計画が出来るのではないのでしょうか。 ②タクシーチケットを活用した新たな公共交通システムを試験的に導入して1年の総括は。利用率・どこの地域からの利用が多いか・市民からはどんな声が届いているかお聞かせください。 ③近未来の自動運転化に向けて道路整備・白線の整備なども必要では。 ④バスに関連して併せてスクールバスの検討もはじめてはいかがですか。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第6号 13番議員 小野 潔</p>	<p>吉川美南駅東口周辺地区土地 区画整理事業について及び美 南駅東西地区の公共施設（図書 館、文化施設、市役所の出先機 関等）の設置の可能性について</p>	<p>吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業は、平成29年度より土盛造成工事に入り本年度工事用仮設道路工事、仮設調整池工事、生活道路の切り回し工事、駐輪場の移設工事を実施したと聞いています。また平成29年12月に実施をした申出換地（本申出）の結果による一部土地利用計画の見直しをし、平成30年3月に第7回地元説明会を開催したとのことです。着実に土地区画整理事業が進捗していることは心強い限りであります。この土地区画整理事業と合わせて西口のイオンタウン吉川美南の開設を含め美南地区の発展も目覚ましいものがあります。そこで吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業、また美南駅東西地区の公共施設設置の可能性についてお伺いいたします。</p> <p>①土地区画整理事業の一部土地利用計画の見直しの背景と内容についてお伺いいたします。</p> <p>②地元説明会の開催日時、場所、参加者数、内容、反響は。</p> <p>③6月より「まちづくりパートナー事業者の募集を行っていますが、現在までの状況について</p> <p>④日本船燈横の生活道路を通行止めとするとのことですが、美南高校生の通学路の確保については。</p> <p>⑤美南駅東西地域の発展に伴い、図書館の設置要望の声を聞いております。可能性を含め設置についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>⑥「まちづくりパートナー事業者」募集の際、吉川美南駅東口周辺地区企業立地のご案内の中で、商業・業務ゾーンのコネクトとして「賑わいの庭」、商業施設を中心に魅力ある文化施設や子育て施設の融合、と掲載しています。どのような文化施設の可能性を考えられているのか、また子育て施設を含め市役所の出先機関の設置の可能性についてお伺いいたします。</p> <p>⑦交番設置の進捗状況について</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第7号 3番議員 稲葉 剛治</p>	<p>「不登校」に関する取り組みについて</p>	<p>1・現状について</p> <p>①現在の小中学校の不登校者数を伺う。</p> <p>②不登校に関しての取り組み状況と、その効果について伺う。</p> <p>③相談室の利用時間、利用方法について伺う。</p> <p>④スクールカウンセラーの配置状況について伺う。</p> <p>⑤市長部局と連携について伺う。</p>	<p>担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第7号 3番議員 稲葉 剛治	(続) 「不登校」に関する取り組みについて	2・予防策について ①欠席日数30日未満の生徒への取り組みについて伺う ②不登校予防策としてどのような取り組みを行っているか伺う。 ③課題と今後について伺う。	担当部長
	「いじめ」に関する取り組みについて	1・現状について ①現在の小中学校のいじめ認知件数と対応について伺う。 ②「吉川市いじめ問題対策協議会」について伺う。 ③現状と課題について伺う。 ④いじめの重大事態の対応、市長部局との連携について伺う。 ⑤いじめ解消後の対応について伺う。 ⑥今後の取り組みについて伺う。	担当部長
	総合運動公園について	現在の進捗状況を伺う。	担当部長
通告第8号 2番議員 雪田 きよみ	1. 「子どもの笑顔と活気でまちを満たす」について	平成30年度施政方針では、「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標、「子どもの笑顔と活気でまちを満たす」の実現推進を主として、教育・子育て・出産に関する取り組みを家庭・地域・学校・行政が一体となって進めるとしています。文字通り、「子どもの笑顔と活気」が溢れる街づくりを推進していきたいと心から思っております。本当の意味で子どもたちの笑顔と活気でまちを満たすためには、様々な困難を抱えた子どもたちへの多角的な支援が大切だと考えています。 ①市の統計では、小学5年生の特に男児の肥満割合が高いと言われております。その原因についてどのように検討されているのでしょうか。また、その対策について教えてください。 ②子どもたちを肥満にさせないためにも、三輪野江・旭地域の子どもたちの遊ぶ場所の確保や放課後友達同士で遊ぶための道路条件の整備などが求められていると思いますが、市の考えはいかがでしょうか。 ③不登校の子どもたちの「居場所」が欲しいとの要望が寄せられています。市の考えをお聞かせください。 ④不登校の子どもたちが、そのまま将来の引きこもりにならないための支援が必要だと考えています。中学校卒業後の不登校児童・生徒に対する支援についての考えをお聞かせください。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1. 「子どもの笑顔と活気でまちを満たす」について</p>	<p>⑤子育て支援の施策を充実させるために、今学校給食費を無料とする自治体が増えていきます。吉川市でもぜひ検討していただきたいと思っています。市の考えはいかがでしょうか。</p> <p>⑥小学校入学時の机の引き出し・算数セット・楽器などの購入を個人負担にせず、自治体で購入するべきと考えますが、市の考えをお聞かせください。</p> <p>⑦市の昨年度の児童虐待件数は180件と報告されていました。「多い」と驚く声がたくさん寄せられています。この件数についてどのように分析されていますか。また、減らすための対策はどのようにされていますか。</p> <p>⑧安倍政権の下、教育の右傾化を不安に思う国民の声は決して少なくはありません。市長の教育再生首長会議への参加や、市の教育大綱についても不安の声が多く聞かれています。このような市民の声を、どのようにお考えですか。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第8号 2番議員 雪田 きよみ</p>	<p>2. 防災対策について</p>	<p>市は今年度も「自助・共助意識の向上」を目指し、様々な事業を展開されています。</p> <p>①11月4日に三輪野江小学校で開催された減災プロジェクトでは、様々な業者による避難用品の展示が行われていました。トイレやお風呂、プライバシー保護のためのグッズやベッドなどは自治体単位で準備するものかと思われました。市の購入計画を教えてください。</p> <p>②非常用食品では、アレルギーや介護用非常食品も案内されていました。こうした食品を必要とする方々への情報提供について、市の対応を教えてください。</p> <p>③江戸川水防事務組合では、今年は「静岡県地震防災センター」に視察に行きました。センター職員の説明では、高齢化の進展や高齢独居世帯の増加を鑑み、「自助」だけでなく「共助」「近助」の大切さが強調されていました。市の考えと対応について教えてください。</p> <p>④ペットの避難訓練については、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>⑤避難行動要支援者名簿について平成29年3月議会での答弁では、「名簿の取り扱い、情報共有が難しい」とのことでした。その後の取り組み状況について教えてください。</p> <p>⑥電源を利用する医療機器の装着・利用を必要とする在宅療養者への停電対策について、市の取り組み状況を教えてください。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第9号 19番議員 松崎 誠	地域農業の実情と今後の取り組みについて	<p>第5次総合振興計画にある魅力ある農業の振興については、未来を見据えて取り組むべきであり、今後の本市の将来像に欠かせない大きな柱の一つとなっています。</p> <p>農業従事者の減少や高齢化が進む中、まずは、地域農業の担い手である認定農業者や認定新規就農者の確保・育成を進めるとともに、農業経営の安定化及び農業所得の増大に向けた支援を行う必要があります。また、JA さいかつや生産者等と連携をしながら、吉川産の米や夏ねぎ等のブランド化に向けたさらなる取り組みを進め、吉川産農産物のPR、販路の拡大といった攻める農業を目指すことが求められます。さらに、転入者も増え、市の農業の現状や農産物の魅力を知らない市民も少なくないため、農業体験やイベント等を通じて、生産者と消費者の交流を図り、市の農業に対する関心や理解を深めてもらう必要があります。農業生産基盤については、本市に合った農地の集積化や集約化を支援すると同時に、農業用排水路等の整備を推進する必要があります。迅速かつ低コスト型の基盤整備である埼玉型ほ場整備事業は、吉屋地区において事業導入がなされ、平成29年度の事業完成となりました。そこでお伺いをします。</p> <p>①埼玉型ほ場整備事業の概要と吉屋地区のほ場整備事業を終えての問題点と課題等について。</p> <p>②今後、新たな地域での埼玉型ほ場整備の取り組みについて。</p> <p>③魅力ある地域農業の具体的取り組みについて。</p>	担当部長
通告第10号 18番議員 齋藤 詔治	吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の進捗状況と内容について	<p>平成29年6月23日に市街化区域編入・土地区画整理事業が認可になり、早一年半が経過いたしました。進捗状況と内容についてお伺いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予定の産業ゾーンの盛土が行われていないが、予定通り進捗しているのか。 ・当初説明の盛土圧の高さを4.0mより3.5mに下げる変更が生じたが、変更した理由と将来における地盤沈下等で困ることはないのか。 ・暫定仮換地のスケジュールが平成30年3月から平成30年12月に変更されたが、その遅延理由と変更後の完了時期は。 ・申出換地意向確認の結果、土地利用計画図の見直しを行ったが、それ以外に変更検討した事項はあるのか。 ・商業ゾーン・工業ゾーンの企業誘致の状況は。 	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	現在の吉川美南駅を2面3線から2面4線に変更し、市民にとって利用しやすい、また吉川市にとって価値のある駅舎に	吉川美南駅は東京駅より19番目、府中本町から17番目とJR武蔵野線のほぼ中央に位置しています。現在進めている吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に合わせ、駅舎を2面3線から2面4線に変更し、始発または終電を可能にすることは、市民にとって利用しやすく、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業、吉川市のまちづくりへの躍進に大いに寄与することになるのでは、お伺いいたします。	市長
(続) 通告第10号 18番議員 齋藤 詔治	第1号雨水幹線(木売落し)貯留施設整備事業について	木売落し2層化による貯留施設整備事業は、平成27年8月から現況測量・地質調査・都市計画決定・事業認可変更と事業を進め、今年12月28日にポンプ場や管路施設の基本構造について検討業務の工期を迎えます。異常気象といわれ、早期に治水対策整備が必要になっている状況下で、完成工期、構造、費用等のような成果が得られそうですか。また今後の人件費や物価の高騰による事業費の高騰を考慮し、いつ発生するか分からない水害に対応するため、この複雑で困難な事業の廃止等を早急に検討する必要があると考えますが、お伺いいたします。	市長
	市街化調整区域内の整備施策と農業振興施策について	吉川市は、首都圏近郊農業地帯です。農地の土地所有権者が、農地(資産)を活用し、農業経営の拡大・生活の安定が図れるように農業者の意見をくみ取り、農地制度の見直しを早期に推進することが農業を守る施策の一つと考えます。改正農地法による新たな事業への取り組みとして、野菜生産工場・野菜カット工場・農業生産物加工工場・食料備蓄基地等が考えられます。吉川市の指導で積極的に官民共同で研究し、実施してはいかかとお伺いいたします。	市長
通告第11号 12番 小林 昭子	1、東海第二原発広域避難計画。水戸市と吉川市の協定書締結は、3.11はどう生かされるのか。	東日本大震災の教訓を踏まえ、被災住民の広域避難の規定が災害対策基本法に盛り込まれた。9月議会では、昨年10月被災県である水戸市から住民受け入れの申し入れがあり、協定締結に向け、他自治体とも協議中とのこと。また、水戸市は、「協定締結を予定している県内の市町村が一堂に会して締結式ができることを考えている」ということでした。①その後の進捗状況について。②受け入れに当たって市が危惧している点は。③東海第二原発は11月28日で40年の老朽施設にも関わらず、11月7日再延長が認められ最長「2038年」まで運転可能となり、再稼働へ向け動き出している。協定があっても住民が避難中に被ばくの恐れがあるとも指摘されている。3.11福島第一原発事故の教訓を踏まえ、東海第二原発の再延長、再稼働に対する市長の見解を。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 12番 小林 昭子	2、「はーとふるぽっと」の赤字解消とは。その後の事業実績は。真の就労とは。	<p>「はーとふるぽっと」が閉店して8か月。おあしすに入るとすぐ「シャッター通り」の感。市が言う「はーとふるぽっと」の赤字について。弁当販売、コーヒー販売等その後の事業実績は。「はーとふるぽっと」の赤字が解消できフレンドパークで働いている障がい者の方の収入はどのくらい増えたのでしょうか。市は昨年、今後の事業に向け、「はーとふるぽっと」とも推進協議会を作り1年間話し合いをして来たと言われていたが、当然話し合いは続いていると思うが、現在どのような話し合いがされているのか。市長は「真の就労、・・仕事をつくり出していき、そういう場所をつくり出していきということが一番大事。」との見解でしたが、現在それは何処に実現しているのですか。「はーとふるぽっと」を無くし、店舗が閉鎖されたまま。市民にとっては一番分かりにくい市政の姿では。まちづくりは市民誰もが分かりやすく共感できることが第一ではないかと考えるが市長の見解を求める。</p>	市長 担当部長
	3、越谷・吉川線信号機設置など市は交通危機管理を	<p>越谷・吉川線横断歩道信号機—4月の設置が見送られ、9月の設置も見送られている。取り組みと設置見通しは。②吉川美南高校前信号機—要望されて長い。東口開発が進み更に車が多くなるのではないかと。③大字木売 369 地先の市道（T字路）が出来てから何度もガードレールが壊れている。危険。信号機を。④エンゼル保育園前市道の安全対策は要望して半年以上になりますが、毎日父母は小さい子を連れ危険な思いをしている。対応は。</p>	市長 担当部長
通告第12号 11番 佐藤 清治	国保税制度の改善は	<ul style="list-style-type: none"> ・安倍政権は今年4月から「国保の都道府県化」をスタートさせました。その最大の狙いは市町村が一般会計から国保会計への繰り入れを行っている自治体独自の国保税軽減を止めさせ、その分を保険税に転嫁させることにあるといわれています。保険者努力支援制度も導入されましたが、政府のやり方をいっしょに推進するのか、住民を守る防波堤の役割を果たすのか、問われている。市としての対応について伺います。 ・吉川市は都道府県化に伴い国保税を引き上げたが引き下げるべきである。市長は現在の国保税についてどのように考えているのか伺います。 ・国保税の負担軽減のために市としての対策についての取り組みについて伺うとともに、子どもの均等割りについては軽減すべきと考えるが見解は。 ・保険証の取り上げの制裁措置を定めた国保法の第9条を改正すべきと考えるが市長の見解は。 	市長 担当部長
	公契約条例の制定を	吉川市でも条例制定を行うべきであるが市としての考え方について伺います。	市長、担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第12号	給食費の軽減を	吉川市は給食費を引き上げたが、学校教育は無償との観点からも、子育て支援の点からも軽減を実施すべきである。	市長、教育長 担当部長
11番 佐藤 清治	子ども医療費 18歳までの無料化を	吉川市は15歳までの無料化を実施してきたが18歳までの実施についての考えを伺います。	市長 担当部長
通告第13号 10番 加藤 克明	吉川小学校区通学路 「あいさつ通り」に 安全対策を。	毎年、凄惨な交通事故の報告がされています。登下校の列に車が突っ込む事故や高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故など後を絶ちません。児童・生徒の命を守るために更なる安全対策を提案いたします。市内小中学校の通学路には、様々な安全対策がなされています。校門前の通りには歩道やガードレール、縁石やグリーンベルトなど。しかしながら、吉川小学校校門前の「あいさつ通り」には、そういった対策がされておらず、西側に外側線が一本あるだけで決して歩道と言える歩道ではなく、側溝の蓋の上を歩いて登校。中には電柱を避けて車道側に出て登校している児童もいます。更には、時間が異なる下校時には校門前の横断歩道を渡り外側線すらない東側を歩いて下校しています。また南方面道路は道路が狭隘で、「あいさつ通り」入口には路面標示はありますが、同様に外側線すらありません。市民の大切な命を守るためグリーンベルトなど、インフラ整備を含めた安全対策を講じてはいかがか。見解を伺う。	市長 担当部長
	市民農園再整備について	市民農園において、ホテル観賞用のドームが完成したと聞き及んでいます。農業及び地域の拠点として更なる魅力向上を図るとしてはありますが、この地域に関する今後の展開について市の方向性を伺います。	市長 担当部長
通告第14号 9番 吉川 敏幸	三輪野江地区の開発整備計画 について	三輪野江地区の開発整備計画において、農業保全エリア、農業拠点検討エリア、将来開発検討エリアという位置付けがされているが、この地区は今後5年間で三郷流山新橋の開通、三郷スマートインターチェンジのフルランプ化などが予定されており、目覚ましい発展の可能性がある地域となっています。市長は施政方針演説において、隣接する三郷市と連携を図ると述べておられますが、道路のアクセスを含め、どの程度連携が図れているのか現状を伺います。	市長 担当部長
	税の使い方の公平性について	平成29年度の決算において、社会教育推進事業である市民劇団は、27名の参加者に対し、総額913万5千円支出されているとのことでした。文化連盟、体育協会所属の各スポーツ団体への補助金と比較し、税の使い方の公平性について市の見解を伺います。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第15号 1番 遠藤 義法</p>	<p>1. 市の来年度予算編成に向けての基本的方針と施策は</p>	<p>1. 市長は、この4年間取り組んできた事業や施策を総括し、来年度予算編成に生かすものと考えています。また、市の財政に影響を及ぼす政府の「平成31年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針」で、地方交付税交付金等については、「新経済・財政再生計画」との整合性に留意すること。「消費税率引上げに伴う歳出改革の取組を継続するとの方針とは別途、臨時・特別の措置を2019・2020年度当初予算において、講ずることとする」としています。具体的項目について伺います。</p> <p>①市長は、これまでの総括や国の動向などの考えを明らかにし、予算編成に当たって職員にどのような基本方針を示したのか。</p> <p>②吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定基礎調査、年度ごとの市民意識調査結果から、いま「市民が求める施策」は何かを見極め、事業を図る考えか。(満足度と重要度)</p> <p>③市の来年度一般会計当初予算規模の推定金額はいくらか。市民の所得の推移から見た市民税の動向は。地方交付税・国庫補助金などの状況把握と予算獲得するための事業、その準備は。水道特別会計から10億円借入れを行うなどの検討をしているようですが、その理由と背景は。</p> <p>④「市役所とおあしすの一体整備について」の市長キャラバンを実施したが、今後の計画と事業が、今後の計画と事業実施の見通しは。</p> <p>⑤昨年12月からタクシーチケット補助事業を試行してきたが、中間的まとめは。市民は、全市を対象として気軽に外出できる公共交通網の整備を求めていると考えますが、市の認識と今後の計画は。</p> <p>⑥市は、地震や豪雨災害などに対する対策について、自助・共助の取り組みを自治会や自主防災組織を通して実施しております。地域や自主防災組織の減災計画策定支援、市の方針や情報の共有など、現在までの到達と今後の進め方、計画はどのように考えていますか。</p> <p>⑦市長は、「非認知能力の向上」をあげ、様々な事業に位置付けています。非認知能力の大切さを明らかにして、それを育むために保育所や幼稚園、学校、公園などの環境づくりに何が必要か、そこに関わる方への育成はどのように進めてきたのか、また、これから進めていくのか。</p> <p>⑧市の事業や施策を立案・実施するために市民参加は重要です。市の事業は、総合振興計画や実施計画などによって市民と認識を共有してこそ、多くの協力も得られます。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第15号 1番 遠藤 義法	(続) 1. 市の来年度予算編成に向けての基本的方針と施策は	しかし、これまでの市の取り組み方、市民参加・共働の在り方で良かったのか。市民と共に十分な検討もないまま事業実施が多過ぎなかったか。市の職員にとっても本来の業務と共に行事の準備などで多忙を極めたのではないか。市民への周知が不十分で、各行事の参加者も多くはなかったのではとの声も聞かれます。市の認識と今後の考え方は。	市長 教育長 担当部長
	2. 消費税増税と市民、市への影響は	2. 消費税増税が19年10月から予定されています。消費税は、市民生活にとって大変負担の重いものです。市財政にとっても歳入・歳出、市民税への影響は大きいと考えますが、具体的にそれぞれお聞きします。消費税が導入されて30年経過しますが、日本の財政赤字は解消するどころか、増えています。30年前254兆円だった国と地方の借金は、18年度末の見込みで1,107兆円となる予想です。この30年間の消費税総額は372兆円にのぼります。一方、ほぼ同じ期間の企業の税負担は291兆円、所得税と住民税も270兆円減りました。減収の要因は、消費税導入などによる景気悪化と、大企業や富裕層などへの減税によるものといわれています。国税5税の減収による地方交付税の財源不足、臨時財政対策債の導入による地方の借金の増。税本来の在り方である、応能負担に変えていくことが求められています。市の認識と対応、消費税は増税するのではなく減税をと主張すべきであると考えますが、市の見解は。	市長 担当部長
通告第16号 5番 林 美希	こども（未就学児）の育ちを取り巻く環境の変化に対応するために	①保育について ・平成31年度保育施設利用の申請状況は。 ・平成31年10月開始予定の保育無償化の影響による、保育の量のニーズ変化をどのように見込んでいるか。 ・公立保育所として保育運営の在り方をどう考えているか。 ・市で雇用する正規職員保育士の役割をどう考えているか。 ②幼稚園について ・平成31年10月幼児教育の無償化影響により、市内幼稚園と保護者ニーズやこどもを取り巻く環境への対応（虐待等）の共有の必要性があるとする。市内幼稚園との連携強化についての考えは。 ③保育所にも幼稚園にも属さないこどもについて ・市内在住で、保育所にも幼稚園にも属さないこどもの人数の推移は。 ・発達や生活困窮等の理由で団体に属することが困難なこども（3～5歳）たちの育ちと、保護者への支援体制は。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第16号 5番 林 美希	市内小中学校の情報発信と、特徴に合わせた対応について	①児童・生徒数について ・市内小中学校において、児童・生徒数の増減が著しく、運営維持が困難と思われる場合の対応は。また、その対応実施までの過程は。 ・市内各小中学校における児童数推移予測（学年毎・住民基本台帳ベース）を公開してはどうかか。 ・児童数の著しい増加が見込める小学校区に居住する児童が、他の小学校への通学を選択できるよう制度整備をしてはどうかか。 ②吉川中学校開校について ・平成32年4月の吉川中学校開校に向け、影響がある児童・生徒の保護者に対しどのような情報発信を行っているか。	市長 教育長 担当部長
	農業振興について	吉川市の農業振興に寄与するための農作物PRとしてどのような事業を行っているか。	市長、担当部長
	協働のまちづくりについて	①市制20周年事業が現在どのような形で発展しているか伺う。 ②吉川市における住民自治の形として、地域の課題共有・解決、合意形成がどのような団体で諮られているか伺う。	市長 担当部長
通告第17号 17番 伊藤 正勝	まちづくりとビッグプロジェクトに関連して。 ▽幹線道路について。	暮も押し迫り、市長の4年任期の最後の議会。一つの区切りです。まちづくりの骨格である幹線道路とビッグプロジェクトに関連して質問を重ねて参ります。 ①越谷～吉川線。吉川橋の架け替え。それに続く25m道路の延伸。オリンピック前に完成と聞いたが、進捗状況は。見通しについて伺います。 ②総振の後期基本計画では幹線道路の整備として、▽東埼玉道路▽三郷・流山線▽三郷・吉川線▽越谷総合公園川藤線▽浦和、野田線を提示。それぞれの進捗状況、今後の見通しを伺いたい。 ③常磐道。三郷インターの大型通行、フルインター化の現状と動向。三郷側との協議や取り組みについてご説明を。	市長 教育長 担当部長
	▽中央地区と吉川美南駅東口周辺整備について。	まず①中央地区について。▽33年度事業終了の方向だが、現状。今後のスケジュール。▽街路樹（25m道路と通学緑道）について。低木のみと聞くが、その選定の理由。植栽の時期。住民などの意向調査。実状をご説明ください。▽中央地区整備の総事業費と市負担全額の見通し。▽「清算」の作業の段取りについても伺います。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) ▽中央地区と吉川美南駅 東口周辺整備について。	次に東口周辺整備事業について。 ①先に駅前公園のあり様にしぼって、2回の市長キャラバンが行われた。▽実施状況。その概要と成果。今後の展開を。▽大きな調節池。この平常時の公園化の考えについてご説明ください。商業ゾーン。産業ゾーン。新しいまちの核となる事業。進出企業や事業所の公募の時期が近づいている。▽現状と今後の展開について。▽合わせて完了までの節目となるスケジュールについても伺います。 ②「笑顔とみどり溢れるみんなの庭」。このコンセプトの実現へのプランと道筋についてご紹介ください。	市長 教育長 担当部長
	▽吉川中学校建設について	①建設工事が進んでいます。総事業費は当初予算比で6億円余の減額と聞きます。▽減額の理由について。▽「地域に寄り添う」がコンセプト。どこに埋め込まれているのか。どう埋め込むのか。完成までのスケジュールと合わせご説明ください。▽開校時と当面の児童(美南小)、生徒の推移の見通しについて伺います。	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第17号 17番 伊藤 正勝	※学校給食についても	学校給食について。一段と「おいしい給食」にとの思いでの質問です。▽給食センターでの試食会の案内が広報に掲載、実施。当日の状況。反響。今後について。加須市は庁内ロビーで「給食食堂」の試み。もっと広がってはとの思いを乗せて▽おあしす(はーとふるぽっと軽食コーナー)等での試食会はできませんか。質問です。	市長 教育長 担当部長
	▽新庁舎に関して	新庁舎での業務は7ヶ月経過。 ①働く職員の士気。市民の評価、評判はいかがですか。▽1日平均の来庁者は。▽会議室等の一般市民利用の実状。▽猛暑で光熱費が大幅増の様子。光、熱、水。案内業務。ランニングコストの増減はどうなりそうですか。▽今後の改善、改良。活用の方針など変更はありますか。 ②職員について。働き方改革と関連して伺います。▽時間外手当の増減について。この5年間のデータをもとに。その理由を。▽退職者や中途退職者の動向。教職員についても質問します。▽臨時職員の扱いや処遇。何か変わりましたか。▽同一労働、同一賃金などの方向が示されています。市の取り組みの方向とスケジュールを確認させてください。 ③働かせ方も大事なポイントです。トップとして心掛けていることをご紹介します。 ④新庁舎と結ぶ公共交通網の充実をとの声が寄せられています。今後の施策の方向、方針。見通しを含めご説明ください。▽バスのルートの変更。▽新駅と結ぶ道路の整備は進んでいますか。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第18号 8番 降旗 聡</p>	<p>「中原市政4年間」で残された課題について</p>	<p>私たち「市民の会・無所属」は、11月2日に、平成31年度吉川市予算編成に対する要望書を中原市長に提出しました。私たち6人が、日々の活動の中から得た市民の声と、会派で検討を重ねた結果、9項目47点となりました。これは、今後の市政運営に重要であると考えられるものです。新庁舎も完成し、引き続き、吉川中学校建設、吉川美南駅東口周辺地区開発、越谷吉川線延伸と大型の事業が続きます。多くの市民は、これらの事業と共に、日々の生活が今よりも少し安心に暮らせ、今よりも少し快適になり、今よりも少し幸福と感じられる生活を望んでいます。具体的な話で言えば、市道2-337号線が数年前に一部改修されましたが東側部分が一向に修繕されず、周辺地域住民のみならず、通勤や通学等で利用される多くの市民からも「道路が荒れていて危険」、「なぜ全体的に補修しないのか」、「政治的な力が働いているのでは」など、行政の姿勢について厳しい意見をいただきます。そこで、道路整備・維持補修の計画を見える化し、広く市民の理解を得ることが大切であると考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>また、私のもとに「市長と議会の関係はどうなっているの」といった問い合わせや、心配されている方々から様々なご意見をいただきます。確かに昨年5月末に、3人の議員が会派を離脱したことは、私が代表としての力量の無さが、招いたことであり、大いに反省するところです。その昨年5月以降、市長のフェイスブックをはじめとするSNSでの発信、紙媒体での発信を見た市民から、「市長と市民の会は対立しているのか」との問い合わせも多くあります。確かに産業振興部と教育委員会から文化振興部門を市長部局へ移管するとした提案には反対し、おあしすの改修についてもストップをしました。しかし、これもより丁寧な議論と、市民の深い理解が必要であると考えてのことでした。中原市長は議場で、今年度予算が修正されたことについて「真摯に受け止めている」と何度も答弁していますが、市政報告会などの席では、真逆な発言をされていると、参加した市民からお話をいただきました。「行政と議会は両輪で…」、「市民・議会・行政が三位一体となって…」と施政方針などで話していたことと、現状は大いに乖離しているように感じます。そこで、2期目のチャレンジをめざす市長が、今後どのような市政運営と議会对応を考えているのか伺います。</p>	<p>市長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第19号 4番 戸田 馨	「市民の安心安全を守る」について	①第3回減災プロジェクト in 三輪野江小学校区についての総括を伺う (特に、外国人/減災リーダー/福祉避難所、次回の開催について) ②減災事業について ・これまで市が行っている様々な「減災事業」の活用について ・HUG 災害時対応ゲーム(静岡県危機管理課開発の防災ゲーム)の活用について ・「要支援者名簿」精査の現状と今後の管理について ・水害時の高速道路への徒歩等での避難について ・市内の街灯の老朽化について(駅前ライフ横、高富等) ③水道事業について ・水道運営委員会のあり方について(特に、委員への情報提供、委員構成について) ・有収率向上のための取り組みについて(特に、排水管洗浄作業、漏水についての今後の 具体的対応、配水量に定める県水受水率の割合の考え方について)	市長 担当部長
	幸福実感は福祉から	①第2保育所とこども発達センターについて ・第2保育所の建設理念、設計内容の方向性、スケジュール等について ・こども発達センターの整備現状、今後の運営について ②保育への支援について ・幼保無償化に対する市の見解について ・幼稚園、保育所に通わせていない親への支援について ・ファミリーサポートセンターの会員の現状と今後について ③旧庁舎跡地について ・解体作業の現状、近所からの意見について ・今後の跡地利用の方向性について	市長 担当部長
	芸術文化事業について	①第2回演劇公演プロジェクトの総括 ②演劇事業以外の芸術文化事業の総括と今後について ③beyond2020 への取り組みについて ④「芸術文化を総合政策に」における現状と今後について	市長 教育長 担当部長